

2013（平成25）年 結果の概況

I 品目別支出の状況

2013年は、いわゆる「アベノミクス」効果による消費者マインドの改善や、2014年4月の消費税率引上げ前の駆け込み需要などにより、家計の消費には幾つかの動きが見られた。本章では、これらの動きを品目別の結果から見てみる。

○ 婦人用スーツ・ワンピースは実質8.2%の増加

二人以上の世帯について、2013年の婦人用スーツ・ワンピースへの1世帯当たり1か月間の支出金額は1,128円で、前年に比べ名目で9.5%、物価変動の影響を除いた実質で8.2%の増加となった。

対前年実質増減率の推移をみると、2012年（-3.2%）の実質減少から2013年は実質増加に転じている。

2013年の状況を月別にみると、4月以降は10月を除き実質増加が続いた。（表I-1、表I-2、図I-1、図I-2）

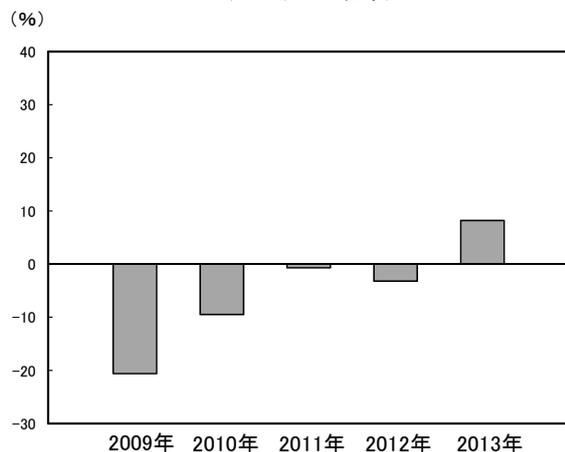
表I-1 婦人用スーツ・ワンピースへの1世帯当たり1か月間の支出金額の対前年増減率の推移
（二人以上の世帯）

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
支出金額(円)	1,166	1,059	1,064	1,030	1,128
名目増減率(%)	-21.3	-9.2	0.5	-3.2	9.5
実質増減率(%)	-20.6	-9.5	-0.7	-3.2	8.2

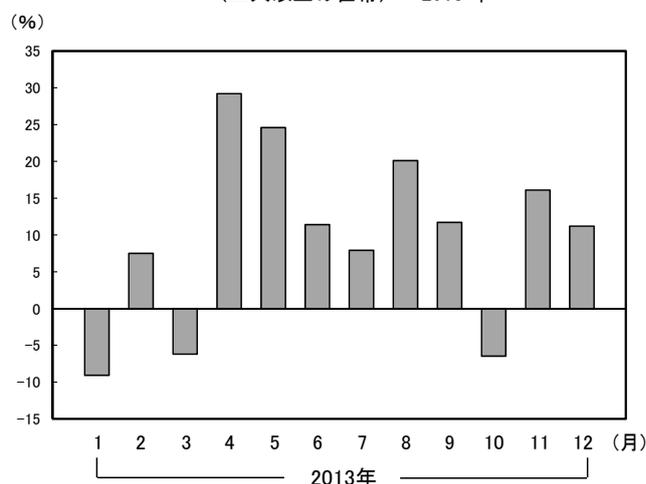
表I-2 婦人用スーツ・ワンピースへの1世帯当たり1か月間の支出金額の対前年同月増減率の推移
（二人以上の世帯）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
【名目増減率】(%)												
2012年	23.1	12.2	33.3	-9.0	-10.4	-10.2	-16.8	-4.5	-13.8	-14.2	-12.7	-18.2
2013年	-8.8	4.4	-4.9	30.1	24.8	11.7	10.8	23.5	13.9	-4.7	18.9	13.9
【実質増減率】(%)												
2012年	21.3	8.4	33.4	-9.2	-10.8	-10.4	-17.0	-3.3	-13.1	-13.6	-11.5	-17.0
2013年	-9.1	7.5	-6.2	29.2	24.6	11.4	7.9	20.1	11.7	-6.5	16.1	11.2

図I-1 婦人用スーツ・ワンピースへの1世帯当たり1か月間の支出金額の対前年実質増減率の推移
（二人以上の世帯）



図I-2 婦人用スーツ・ワンピースへの1世帯当たり1か月間の支出金額の対前年同月実質増減率の推移
（二人以上の世帯） - 2013年



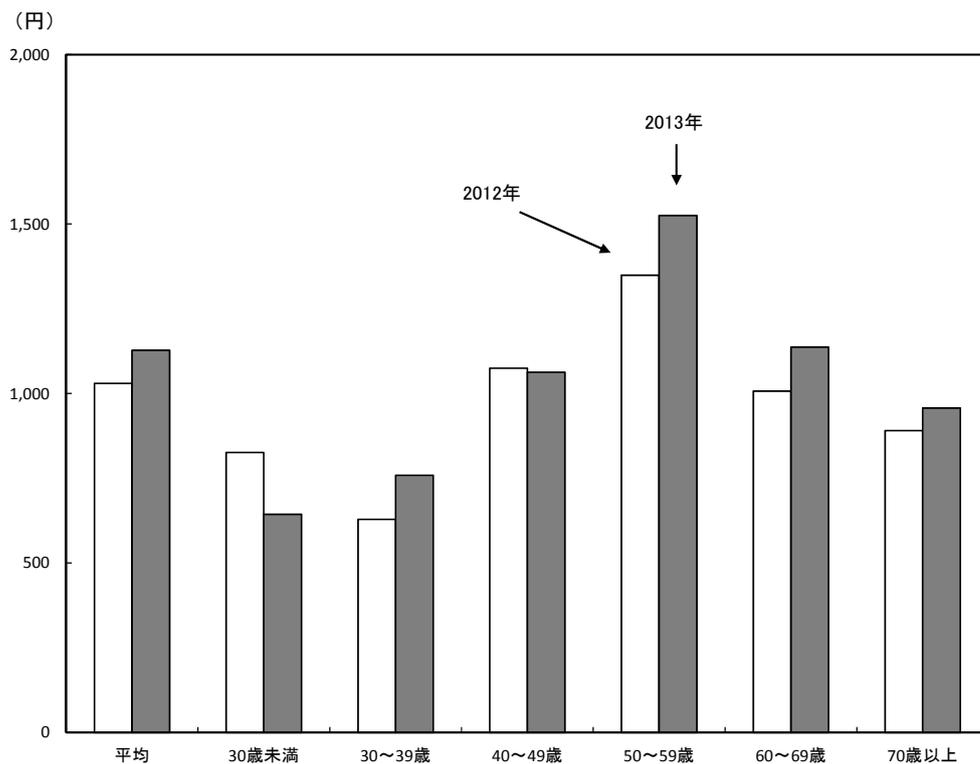
婦人用スーツ・ワンピースへの支出金額を世帯主の年齢階級別にみると、50～59歳が1,525円で最も多く、次いで60～69歳(1,137円)、40～49歳(1,063円)などとなっている。

前年と比べてみると、30～39歳、50～59歳及び60～69歳で大きく増加している。(表I-3、図I-3)

表I-3 世帯主の年齢階級別婦人用スーツ・ワンピースへの1世帯当たり1か月間の支出金額
(二人以上の世帯)

	平均	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
2012年(円)	1,030	826	629	1,075	1,349	1,007	891
2013年(円)	1,128	644	759	1,063	1,525	1,137	957
名目増減率(%)	9.5	-22.0	20.7	-1.1	13.0	12.9	7.4

図I-3 世帯主の年齢階級別婦人用スーツ・ワンピースへの1世帯当たり1か月間の支出金額
(二人以上の世帯)



○ 8月以降は実質増加に転じた新車購入

二人以上の世帯について、自動車（新車）への1世帯当たり1か月間の支出金額は14,720円で、前年に比べ名目で1.6%、実質で1.1%の減少となった。

対前年実質増減率の推移をみると、2012年はエコカー補助金制度の効果などもあり、2011年と比べ38.3%の実質増加と大幅な増加となったが、2013年は前年に比べほぼ横ばいとなった。

2013年の状況を月別にみると、7月まではエコカー補助金制度の効果により前年が高水準であったため4月を除き実質減少となったが、8月以降は実質増加に転じた。（表I-4、表I-5、図I-4、図I-5）

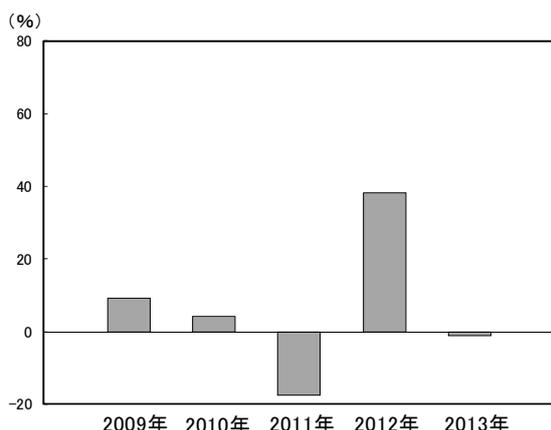
表I-4 自動車（新車）への1世帯当たり1か月間の支出金額の対前年増減率の推移（二人以上の世帯）

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
支出金額(円)	12,661	13,104	10,793	14,958	14,720
名目増減率(%)	8.4	3.5	-17.6	38.6	-1.6
実質増減率(%)	9.3	4.1	-17.5	38.3	-1.1

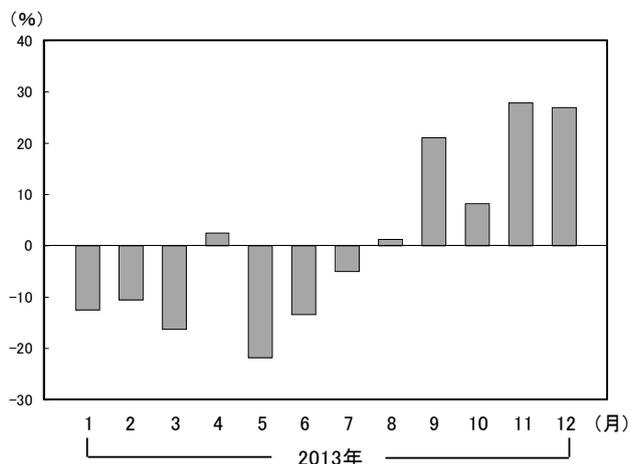
表I-5 自動車（新車）への1世帯当たり1か月間の支出金額の対前年同月増減率の推移（二人以上の世帯）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
【名目増減率】(%)												
2012年	81.5	96.9	53.8	77.0	53.1	52.0	34.1	29.1	-2.4	40.9	4.1	-6.2
2013年	-13.1	-11.1	-16.8	1.9	-22.3	-13.8	-5.5	1.0	20.7	7.9	27.4	26.5
【実質増減率】(%)												
2012年	81.0	96.3	53.3	76.5	52.8	51.7	33.8	29.1	-2.4	40.9	4.0	-6.2
2013年	-12.6	-10.6	-16.3	2.5	-21.9	-13.5	-5.1	1.3	21.1	8.2	27.8	26.9

図I-4 自動車（新車）への1世帯当たり1か月間の支出金額の対前年実質増減率の推移（二人以上の世帯）



図I-5 自動車（新車）への1世帯当たり1か月間の支出金額の対前年同月実質増減率の推移（二人以上の世帯）-2013年



※エコカー補助金制度とは

環境性能に優れた新車を購入し、1年間使用する者に補助金が交付される制度。環境対策に貢献するとともに、国内市場活性化を図ることを目的としていた。2009年4月に初めて導入され、2010年9月に終了したが、2011年度第4次補正予算によって復活し、2011年12月20日以降に新車登録した自動車の申請分から適用が開始され、2012年9月21日申請分をもって終了となった。

なお、環境性能に優れた自動車については、「エコカー補助金制度」のほかに、自動車重量税、自動車取得税及び自動車税を対象とした減税措置も実施されている。

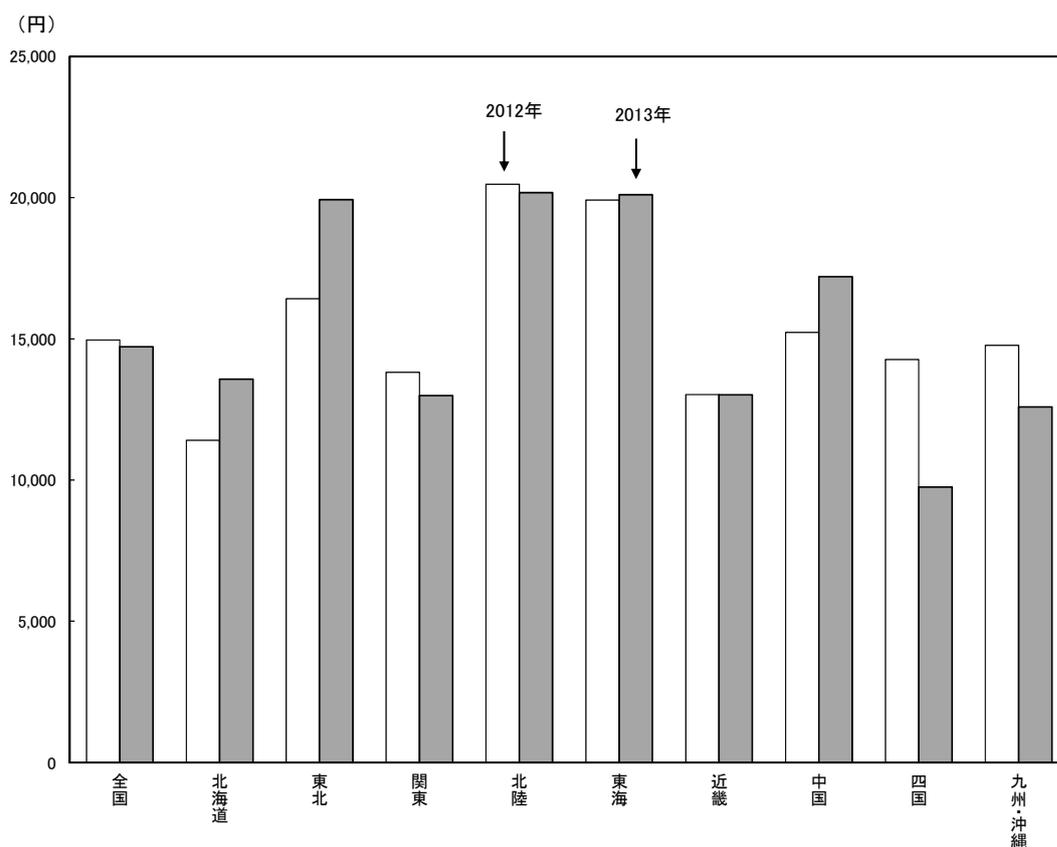
自動車（新車）への支出金額を地方別にみると、北陸が20,177円で最も多く、次いで東海（20,102円）、東北（19,926円）、中国（17,203円）などとなっている。これらの4地域では前年と同様、全国平均（14,720円）を上回っている。

前年と比べてみると、北海道、東北及び中国で大きく増加している。（表I-6、図I-6）

表I-6 全国・地方別自動車（新車）への1世帯当たり1か月間の支出金額（二人以上の世帯）

	全国	地方								
		北海道	東北	関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄
2012年（円）	14,958	11,409	16,422	13,816	20,473	19,912	13,029	15,228	14,269	14,767
2013年（円）	14,720	13,571	19,926	12,987	20,177	20,102	13,017	17,203	9,748	12,587
名目増減率（%）	-1.6	18.9	21.3	-6.0	-1.4	1.0	-0.1	13.0	-31.7	-14.8

図I-6 全国・地方別自動車（新車）への1世帯当たり1か月間の支出金額
（二人以上の世帯）

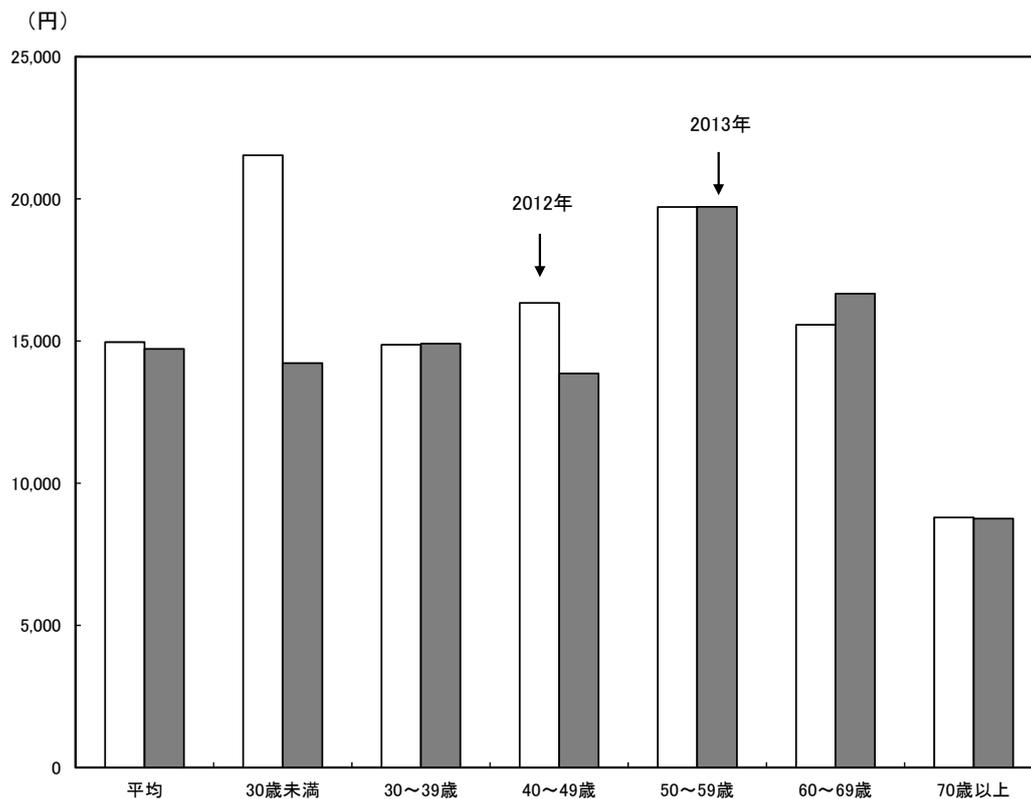


自動車（新車）への支出金額を世帯主の年齢階級別にみると、50～59歳が19,717円で最も多く、次いで60～69歳（16,665円）、30～39歳（14,908円）などとなっている。前年と比べてみると、60～69歳が大きく増加している。（表I-7、図I-7）

表I-7 世帯主の年齢階級別自動車（新車）への1世帯当たり1か月間の支出金額
（二人以上の世帯）

	平均	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
2012年（円）	14,958	21,528	14,865	16,338	19,710	15,567	8,792
2013年（円）	14,720	14,217	14,908	13,858	19,717	16,665	8,752
名目増減率（%）	-1.6	-34.0	0.3	-15.2	0.0	7.1	-0.5

図I-7 世帯主の年齢階級別自動車（新車）への1世帯当たり1か月間の支出金額
（二人以上の世帯）



○ 4月以降連続して実質増加となった冷蔵庫

二人以上の世帯について、冷蔵庫への1世帯当たり1か月間の支出金額は833円で、前年に比べ名目で10.3%、実質で25.3%の増加となった。

対前年実質増減率の推移をみると、2013年は前年と比べて増加幅は縮小したものの、実質増加が続いている。

2013年の状況を月別にみると、4月以降連続して実質増加となった。特に11月及び12月は前年に比べ約60%増と、大幅な実質増加となっている。(表I-8、表I-9、図I-8、図I-9)

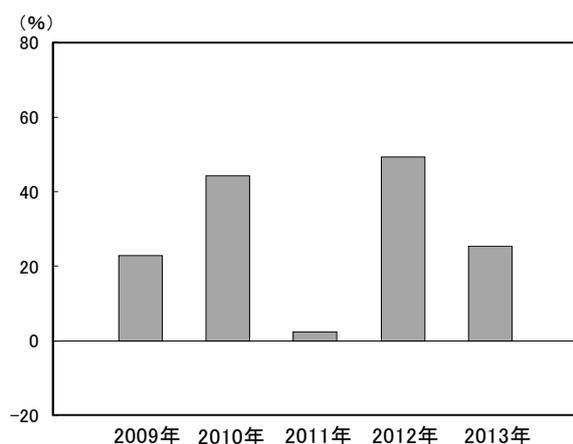
表I-8 冷蔵庫への1世帯当たり1か月間の支出金額の対前年増減率の推移(二人以上の世帯)

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
支出金額(円)	788	944	716	755	833
名目増減率(%)	8.1	19.8	-24.2	5.4	10.3
実質増減率(%)	22.8	44.3	2.3	49.3	25.3

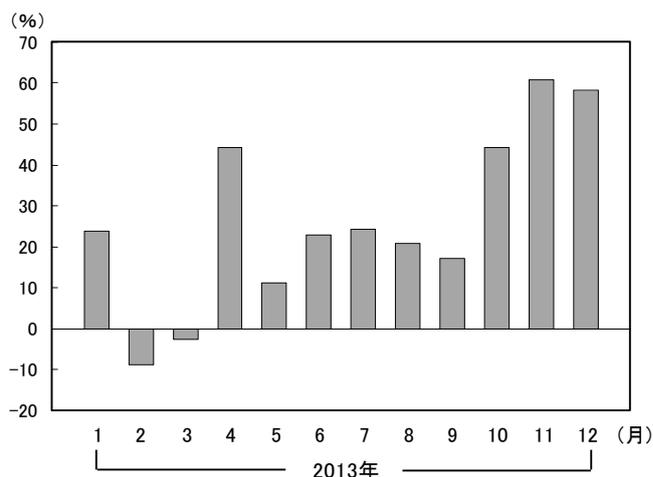
表I-9 冷蔵庫への1世帯当たり1か月間の支出金額の対前年同月増減率の推移(二人以上の世帯)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
【名目増減率】(%)												
2012年	36.0	-1.6	25.3	3.2	18.8	-0.1	-9.9	15.5	22.0	3.8	-2.3	-24.1
2013年	-5.1	-18.4	-12.5	25.3	-4.2	7.1	9.3	5.1	2.7	25.5	55.3	56.2
【実質増減率】(%)												
2012年	100.6	46.6	82.1	43.3	66.2	40.9	27.6	64.1	69.7	41.0	31.8	5.7
2013年	23.9	-8.8	-2.7	44.2	11.3	22.8	24.2	20.8	17.2	44.3	60.8	58.3

図I-8 冷蔵庫への1世帯当たり1か月間の支出金額の対前年実質増減率の推移(二人以上の世帯)



図I-9 冷蔵庫への1世帯当たり1か月間の支出金額の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯) - 2013年



○ 実質4割増となったエアコンディショナ

二人以上の世帯について、エアコンディショナへの1世帯当たり1か月間の支出金額は1,473円で、前年に比べ名目で28.9%、実質で39.4%の増加となった。

対前年実質増減率の推移をみると、2012年は9.6%の実質増加、2013年は猛暑だったことなどもあり、前年に引き続き実質増加となり、増加幅も大きく拡大した。

2013年の状況を月別にみると、1月から12月まで全ての月で実質増加となった。(表I-10、表I-11、図I-10、図I-11)

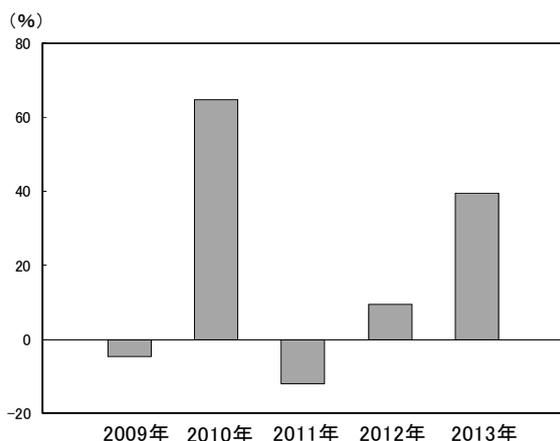
表I-10 エアコンディショナへの1世帯当たり1か月間の支出金額の対前年増減率の推移
(二人以上の世帯)

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
支出金額(円)	958	1,330	1,036	1,143	1,473
名目増減率(%)	-7.6	38.8	-22.1	10.3	28.9
実質増減率(%)	-4.6	64.8	-11.9	9.6	39.4

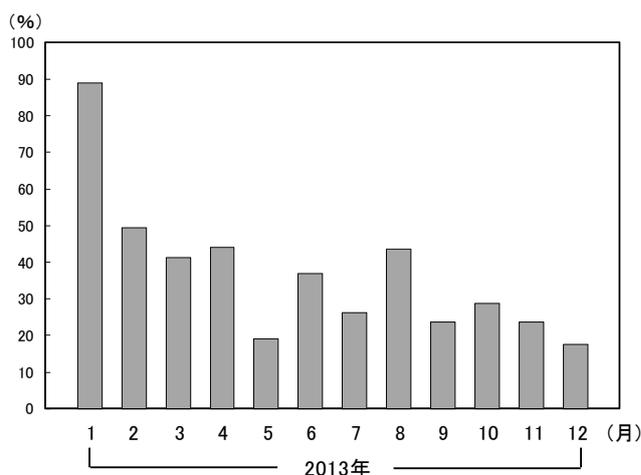
表I-11 エアコンディショナへの1世帯当たり1か月間の支出金額の対前年同月増減率の推移
(二人以上の世帯)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
【名目増減率】(%)												
2012年	10.3	-0.2	-15.1	26.6	32.5	-21.7	15.6	37.5	7.6	-2.3	26.5	14.8
2013年	31.9	13.7	16.2	31.2	9.5	31.7	24.9	45.9	29.1	35.7	30.2	23.7
【実質増減率】(%)												
2012年	-5.2	-9.6	-19.7	26.3	36.0	-18.4	21.8	46.1	12.8	0.4	30.7	15.0
2013年	89.0	49.4	41.4	44.2	19.2	36.9	26.2	43.5	23.8	28.7	23.6	17.5

図I-10 エアコンディショナへの1世帯当たり1か月間の支出金額の対前年実質増減率の推移
(二人以上の世帯)



図I-11 エアコンディショナへの1世帯当たり1か月間の支出金額の対前年同月実質増減率の推移
(二人以上の世帯) - 2013年



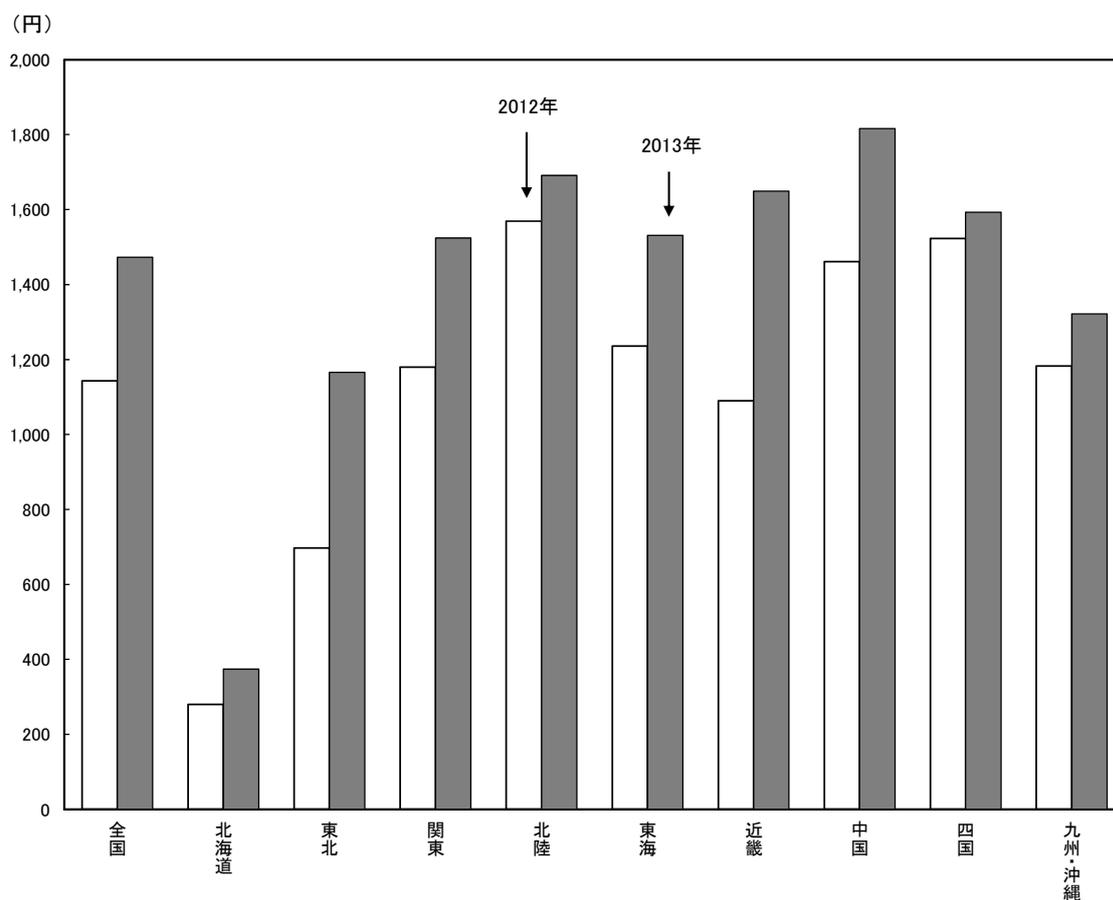
エアコンディショナへの支出金額を地方別にみると、中国が1,816円で最も多く、次いで北陸(1,691円)、近畿(1,649円)などとなっている。

前年と比べてみると、東北及び近畿で特に大きく増加している。(表I-12、図I-12)

表I-12 全国・地方別エアコンディショナへの1世帯当たり1か月間の支出金額(二人以上の世帯)

	全国	地方								
		北海道	東北	関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄
2012年(円)	1,143	280	697	1,180	1,569	1,236	1,090	1,461	1,523	1,183
2013年(円)	1,473	374	1,166	1,524	1,691	1,531	1,649	1,816	1,593	1,322
名目増減率(%)	28.9	33.6	67.3	29.2	7.8	23.9	51.3	24.3	4.6	11.7

図I-12 全国・地方別エアコンディショナへの1世帯当たり1か月間の支出金額(二人以上の世帯)



○ 2年連続して実質増加となった旅行関係

二人以上の世帯について、旅行関係[※]への1世帯当たり1か月間の支出金額は9,783円で、前年に比べ名目で7.4%、実質で6.8%の増加となった。

対前年実質増減率の推移をみると、2011年(-9.8%)の実質減少から2012年(11.5%)に実質増加に転じ、2013年は前年に続いての実質増加となった。

2013年の状況を月別にみると、7月から9月までの夏休み関係での支出が好調だったことに加え、年末年始の12月の日並びの良さの影響もあり、7月、9月及び12月で10%を超える実質増加となった。(表I-13、表I-14、図I-13、図I-14)

※ ここで「旅行関係」とは、「航空運賃」、「宿泊料」、「パック旅行(国内)」及び「パック旅行(外国)」の支出金額の合計をいう。

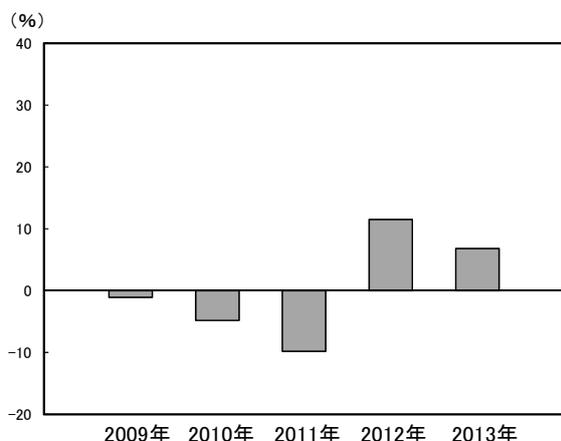
表I-13 旅行関係への1世帯当たり1か月間の支出金額の対前年増減率の推移(二人以上の世帯)

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
支出金額(円)	9,301	8,840	8,196	9,106	9,783
名目増減率(%)	-6.5	-5.0	-7.3	11.1	7.4
実質増減率(%)	-1.1	-4.8	-9.8	11.5	6.8

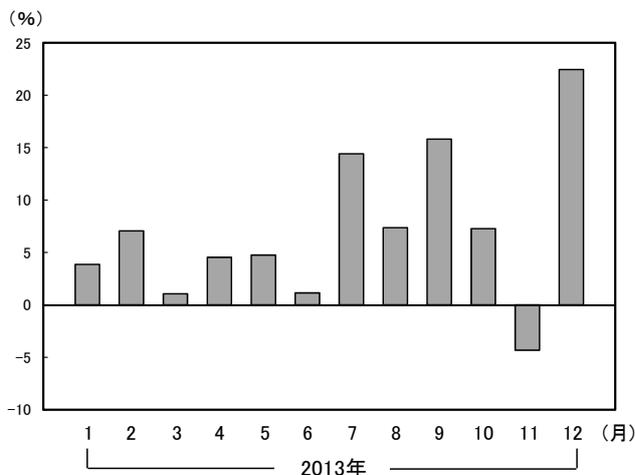
表I-14 旅行関係への1世帯当たり1か月間の支出金額の対前年同月増減率の推移(二人以上の世帯)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
【名目増減率】(%)												
2012年	-12.5	0.2	58.9	57.8	30.3	10.0	8.5	6.9	-7.4	7.6	7.0	-4.0
2013年	3.5	9.4	-0.2	4.5	3.1	1.1	15.2	6.5	15.5	8.5	-0.4	27.6
【実質増減率】(%)												
2012年	-12.5	3.1	60.6	55.7	28.9	9.1	10.0	5.3	-5.3	8.9	5.8	-2.1
2013年	3.9	7.1	1.1	4.5	4.7	1.1	14.4	7.4	15.8	7.3	-4.3	22.4

図I-13 旅行関係への1世帯当たり1か月間の支出金額の対前年実質増減率の推移(二人以上の世帯)



図I-14 旅行関係への1世帯当たり1か月間の支出金額の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯) - 2013年



旅行関係への支出金額を世帯主の年齢階級別にみると、60～69歳が11,827円で最も多く、次いで50～59歳(9,694円)、70歳以上(9,627円)などとなっており、30歳未満から60～69歳までの年齢階級では、世帯主の年齢が高くなるほど支出金額も増加している。

前年と比べてみると、30歳未満、50～59歳及び70歳以上において大きく増加している。(表I-15、図I-15)

表I-15 世帯主の年齢階級別旅行関係への1世帯当たり1か月間の支出金額の推移(二人以上の世帯)

	平均	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
2012年(円)	9,106	4,860	5,874	8,191	8,771	11,091	8,631
2013年(円)	9,783	5,944	6,363	7,960	9,694	11,827	9,627
名目増減率(%)	7.4	22.3	8.3	-2.8	10.5	6.6	11.5

図I-15 世帯主の年齢階級別旅行関係への1世帯当たり1か月間の支出金額
(二人以上の世帯)

